

「調査書」の作成について（令和8年度 前橋育英高等学校入学試験）

1 作成に当たっての注意

- (1) 生徒氏名の表記等、記載する内容は中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）に従って記載する。
- (2) 部活動や学校外の活動、取得資格等については、「7 参考となる諸事項等の記録」に記載する。

2 記入上の留意点

令和8年3月に中学校を卒業見込みの者について、留意点を示す。なお、令和7年3月以前に中学校を卒業した者については、指導要録に準じるものとする。

- (1) 「受験番号」
空欄とする。
- (2) 「1 学籍の記録」
ア 性別については、該当する性別を記入する。
イ 現住所については、居住する都道府県名から記入する。
ウ 卒業等は年月日を記入し、卒業見込または卒業に○をつける。
- (3) 「2 各教科の学習の記録」
ア 各教科の観点別学習状況の観点ア、イ及びウは、それぞれ「知識・技能」、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」に対応する。
イ 第1学年及び第2学年の観点別学習状況及び評定は、指導要録に記載されたものを転記する。ただし、観点別学習状況の転記に当たっては、Aを○とし、B及びCは空欄とする。
ウ 第3学年の観点別学習状況は、2学期までの状況を総合して評価したものを記入する。記入の方法は、前項に準ずる。
エ 第3学年の評定は、2学期までの状況を総合して評定としたものを記入する。
なお、すべての生徒について5段階による評定を記入するものとし、上位より「5」、「4」、「3」、「2」、「1」とする。
オ 特別の教育課程による学習を行う生徒の第3学年の観点別学習状況及び評定は、当該生徒の教育課程及びその評価規準によって評価したものを記入する。その際、「7 参考となる諸事項等の記録」に、特別の教育課程である旨を記載する。
例：「教科○○は特別の教育課程による目標・内容に基づく」等
- (4) 「3 総合的な学習の時間の記録」
第1～3学年における「総合的な学習の時間」について、主な学習活動及び評価の観点の踏まえて、生徒の学習状況の特徴等を記入する。
- (5) 「4 特別活動の記録」
学級活動における係名、生徒会活動における委員名、学校行事における役割等を記入する。
- (6) 「5 行動の記録」
第1学年及び第2学年は指導要録に記載されたものを転記する。第3学年は指導要録の記載に準ずるものとし、充分満足できる状況にあると判断される場合には○印を記入し、他の場合は空欄とする。
- (7) 「6 出欠の記録」
指導要録に準じて記入する。ただし、卒業見込みの者の第3学年の記録は、11月末日までのものを記入する。

(8) 「7 参考となる諸事項等の記録」

次のうち特記すべき事項等があれば記入する。

ア 「1 学籍の記録」、「2 各教科の学習の記録」、「3 総合的な学習の時間の記録」、「4 特別活動の記録」、「5 行動の記録」、「6 出欠の記録」を補足する事項

イ 学校生活全体にわたって見られる特徴及び性格等

ウ 部活動等における活動状況等

- ・ 郡市単位以上の展覧会や各種の大会における活動や実績等

エ 学校外における活動等

- ・ 学校教育以外の諸活動における継続的な活動及び個人参加の大会等における優れた成績等

例 青少年教育活動：市町村教育委員会等主催の活動、ボランティア活動 等

自然体験活動：育成会主催の活動、ボーイスカウト、ガールスカウト 等

その他の教育的活動：スポーツ少年団、スポーツクラブ、武道、音楽・書道教室、検定、資格 等

オ その他

- ・ その他、特記すべき事項